



のびのこちゃん

# あ お だ け



たけまるくん

令和4年5月31日 6月号

わ 分 かり 合 う こと      わ 分 ち 合 う こと

副校長 村上 尚子

今週から6月に入ります。アジサイの花が雨に濡れて色づき始める季節となりました。学校生活も2か月が過ぎ、コロナ禍ではありますが、感染防止の対策を講じて教育活動に取り組んでいます。そんな中、先週の水曜日と木曜日に「たてわり活動」が始まりました。1～6年生が各クラス2、3人ずつ集まり、15人ぐらいで構成されたグループが12グループ。グループごとに一つのチームとして活動するものです。児童のポップコーン計画委員会が中心となり、今年度第1回目の活動では、水曜日に顔合わせ集会、木曜日に「竹山クイズ大会」が行われました。

子どもたちは皆、今年度初めてのたてわり活動に少し緊張した表情を見せていましたが、グループのリーダーである6年生が上手にリードして、自己紹介では「クラス」「名前」に加え、「好きな遊び」を伝えました。自分のことを、また同じグループの友達のことを知ってもらい、そして知るための大切な時間。一生懸命に話したり聞いたりする姿に、お互いを「分かり合おう」とする子どもたちの姿がそこにはありました。翌木曜日には「竹山クイズ大会」が行われ、同委員会児童が立てた「楽しく竹山小の歴史にふれて「竹山小博士」になろう」のめあてのもと、活動が行われました。

Q、創立10周年の時の全校児童は何人？

Q、歴代の校長先生の人数は？

このほかにも、ユニークで皆が楽しめるクイズが出題されました。グループの友達と協力して考え、答えが正解すると、「イエーイ！」と拍手しながら共に喜び合っている様子が見られました。その「分かち合う」姿は、本当にほほえましいものでした。

とてもよい雰囲気の中で行われた「たてわり活動」。友達同士「分かり合おう」とし、共に「分かち合える」ことの大切さを、子どもたちから改めて教わった気がします。これからも、子どもたちの思いやりの心、豊かな心を育む教育を、教職員一同、日々実践していきたいと思っております。